

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（佐鳴台小）学校運営協議会長

<本年度の目標>

本年度のテーマ<つながる力を育む>

- ・見守り活動を充実させる
- ・新たな支援活動の検討

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・常に、学校教育目標「佐鳴の心…勇気・友情・勤労」のキーワードを大切に熟議で来ている。
- ・「つながる」の視点から、子供たちを成長させるために「つながり」の質を高める熟議ができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・昼休みのお年寄りとのふれあいを保護者にも広めること、また、学習内容の定着に向けて、算数授業への支援者も取り入れることなどについて熟議され、スタートできたことは有意義であった。
- ・校内だけでなく、市民（保護者や住民など）を短時間でも計画に受け入れようとする熟議ができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・「コミュニティ・スクールだより」の発行、学校だより「さなるの心」の文面での紹介やホームページなどでの紹介により、保護者地域、住民に学校運営協議会の存在や熟議内容を知らせることができた。
- ・委員として、無理のない範囲で声掛けをして地域の人にも声掛けをしていきたい。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・感染症の不安も減り活動の機会が増えてくるのではないと思う。継続して地域や保護者をうまく巻きこみながら、昼休みの見守り活動や算数の授業支援を続けていくとよい。
- ・昼休みのお年寄りとのふれあいはシニアの方々も喜んでいる。短時間であっても、さらに交流を深め、「うれしいこと」「悲しいこと」「どうしても聞いてほしいこと」などを聞かせてもらえるようになりたい。
- ・つながるためには、信頼関係の構築が必要である。また、他人の意見を尊重できるような環境が求められる。来年度は、「多様な意見を認めつながる力を追求する」がよいと思った。